

平成 29 年度市民対話集会会議録 (要約版)

日 時：平成 29 年 4 月 27 日（木）19 時 00 分
場 所：シビックセンター 3 階 体育集会室

第1回市民対話集会会議録（要点）

- 1 日時 平成29年4月27日（木）19時00分～20時00分
- 2 場所 シビックセンター3階 体育集会室
- 3 団体 出合いの駅おかざき推進協議会 51名
- 4 内容
 - ① 開会
 - ② 市政ビデオの放映
 - ③ 市長挨拶・説明
 - ④ 団体代表要望・意見等
 - ⑤ その他要望等

（団体要望）

JR岡崎駅での観光PRについて

質問

JR岡崎駅では平成27年7月に観光案内所が整備され、岡崎市の玄関口としておもてなし体制も整備されたところである。これを契機に駅構内でさらなる観光PRをしていくことが効果的だと思うが、いかがか。

回答（市長）

JR岡崎駅の乗客数は1日で約2万2千人に上るため、駅構内とその周辺での観光PRはたいへん効果的と考える。現在、観光案内所や駅の自由通路でパンフレットの配布やポスターの掲示などを行い、市内名所やイベントなどを紹介しているが、今後、JR及び自由通路の管理者と協議し、これらを活用したさらなるPRが可能かどうかを検討したい。

JR岡崎駅周辺のにぎわいについて

質問

平成29年10月にシビックコア地区交流拠点が開館する予定である。商業施設の隣に設置される1号公園内でシビックセンターのイベントと連携したイベントを開催することで、駅周辺を回遊する市民の増加と地域の活性化が図られると思うが、市の考えを聞かせていただきたい。

回答（市長）

シビックセンターの広場で開催されている「夏祭り」や「ハロウィンパーティ」などの住民参加の活動と、平成30年3月に完成する1号公園内でのイベントを、歩行者重視道路で

ある出会いの小径を通じて連携させることで、駅周辺の回遊性が高まり地区全体の活性化につながると考えている。

「出会いの駅おかざき推進協議会」の皆様から1号公園の活用案をいただいているので、それを出来る限り実現したいと考えている。

JR 岡崎駅東側から西側へのアクセスについて

質問

藤田保健衛生大学病院の開院など、JR 岡崎駅周辺の開発に伴い、周辺道路の渋滞が予想される。駅東側と西側を結ぶ道路工事は、大学病院の開院に間に合わせることは難しいのか。

回答（市長）

駅東側から西側へのアクセスを向上させる都市計画道路柱町線の開通は平成 35 年度末を予定しており、大学病院の開院には間に合わない。

しかし、2 次救急を担う大学病院へのアクセスルートの確保は市としても重点事項として捉えている。全市的に見ても JR 岡崎駅周辺を最も集中的に整備しており、柱町線以外の 3 路線（井内新村線、福岡線、若松線）について、平成 30 年度末までの開通を予定し整備を進めている。

JR 岡崎駅ロータリーの渋滞対策について

質問

JR 岡崎駅の東口ロータリーにおける朝夕の渋滞対策についてどのように考えているか。歩行者の安全確保という面からも、スムーズな誘導や待機ができるように希望する。

回答（都市整備部長）

駅前ロータリーに進入する車両を減少させるために、新たに交流拠点西側線路沿いの道路を拡幅し、乗降場として利用できるよう整備する。さらに、駅利用者の駐車スペースを 10 台分確保し、最初の 20 分間は無料で利用できるようにするので、送迎の待機場所として利用できると思う。

また、平成 31 年秋頃にはペDESTリアンデッキが完成する予定なので、これによって歩行者の安全が確保されるとともに、広場混雑の軽減につながると考えている。

JR 岡崎駅の西側が夜間に暗いことについて

質問

JR 岡崎駅の西側が夜間に暗い。歩行者の安全確保のため改善できないか。

回答（都市整備部長）

長期的には西口の再整備という構想を持っているが、一度夜間の状態を確認し、対策を検討したい。

針崎若松地区の発展について

質問

針崎若松地区の土地地区画整理事業を進めていくにあたり、点としてのハードだけの整備で終わらないよう、シビックコア全体と面・線のイメージで連動させていただきたい。

回答（都市整備部長）

現時点で回答は持ち合わせていないが、今後の事業計画において可能な限り汎用させていただきたい。